

議 事 録

会 議 名	令和5年第4回小牧警察署協議会（定例会）
日 時 ・ 場 所	令和5年12月14日(木) 午後2時から午後3時15分までの間 ----- 小牧警察署 講堂
出 席 者	1 委員 小谷 達也 会長 長縄 靖 副会長 姉川 健治 委員 川口 エリカ 委員 坂本 佳織 委員 鈴木 浩一 委員 吉田 弘子 委員 渡邊 祐子 委員 AHMAD UMAR ZAHRI 委員 以上9名（定数10名） ----- 2 警察署員 原田署長 小池副署長 高木警務課長 朝倉会計課長 丹羽生活安全課長 山部地域課長 伊左治刑事課長 以上7名 ----- 3 有識者等 なし
諮 問 事 項 等	令和6年小牧警察署に望むこと
答 申 等 の 概 要	1 警察に相談しやすい仕組みづくりの構築 2 交通事故抑止に向け、マンネリ化しないような関心を集める形での交通指導・広報啓発活動の実施 3 各種会合等へ警察官が積極的に参加し、防犯講話や交通安全講話を実施 4 高齢者の運転免許証返納の促進 5 日本語が理解できない外国人を対象とした活動
そ の 他	次回開催予定 令和6年2月下旬から3月上旬

会議の経過及び発言の要旨	
1	署長挨拶
2	各種報告
	(1) 管内の犯罪発生状況[令和5年11月末]（生活安全課長説明）
	(2) 管内の交通事故発生状況[令和5年11月末]（生活安全課長説明）
3	会長挨拶
4	前回の答申に対する具体的施策の推進状況（地域課長・署長説明）
	(1) 諮問事項
	小牧市民が求める地域警察活動の在り方について
	(2) 答申事項
	ア 市民に警察官の姿を見せるなど、警察を身近な存在としてイメージすることができる広報や講話活動の実施
	イ 巡回、パトロール等を通じ市民の様々な要望や意見の聴取
	ウ 通学路の危険な場所等における、積極的な警察活動の実施
	(3) 推進施策
	ア 答申事項アについて
	所前立番や交差点での交通監視の実施
	○ 交番連絡協議会の開催
	イ 答申事項イについて
	巡回連絡の実施
	勤務交替前の幹部による通告、教養及び交番員の業務引継ぎを実施し、市民からの要望を含む必要な情報の伝達
	ウ 答申事項ウについて
	記録者
	警務係長

会議の経過及び発言の要旨	
登下校時の児童の見守り活動の実施	
エ その他	
交番相談員の活動状況	
車両運行前点検、完熟走行訓練の状況	
○ 県下の110番受理状況及び説明	
小牧署で現場臨場に要した時間及び状況を説明	
5 諮問	
(1) 諮問事項	
令和6年小牧警察署に望むこと	
(2) 諮問事項の設定理由（署長説明）	
令和5年は「安心」して暮らせる「安全」な小牧の確立を掲げ、重要事件の発生はなかったが、犯罪は前年に比べて増加し、交通事故も物損事故を含めると増加している。令和6年は犯罪と交通事故の状況を把握し、分析して適切に対応していきたいと考えているが、市民の皆さんが、警察にどんなことを求めているか率直な意見を聞きたい。	
6 協議	
委員	・ 警察に相談しやすい仕組みがあると良い。
委員	・ アクセルの踏み間違いなどによる高齢者の交通事故が増えているように感じるので、危険な運転をする高齢者を運転させないようにする。
委員	・ 最近パトロールカーと警察官の姿をよく見るので、引き続き活動を継続してほしい。
	記録者
	警務係長

会議の経過及び発言の要旨	
委員	・ 学校での交通安全・薬物乱用防止の講話やイベントの回数を増やしたらどうか。
委員	・ 外国人は言葉が分からないので、交通ルールが分からず事故を起こしたり、犯罪行為を理解していないため、お金がもらえるという理由から犯罪を犯すことがある。
委員	・ 交通事故抑止に向け、マンネリ化しないような、関心を集める形での交通指導・広報啓発活動を実施してほしい。
委員	・ 交番に交番相談員がいるとありがたく感じる。
	・ 犯罪抑止に繋がるのでパトロールを継続してほしい。
	・ 警察官が、各地域で開催される会合に出席して、犯罪や交通事故の情勢を直接伝えてほしい。
委員	・ 交通ルールを守れない高齢者に対しては、運転免許証の返納を促して高齢者の交通事故発生を減少させる。
	・ 路面表示の補修を進めて交通事故の発生を抑止する。
	・ 市役所と警察が協力して、平日だけでなく土日等にも、ガラス割り等の実演を交えた防犯講座を行う。
7 答申	
(1) 警察に相談しやすい仕組みづくりの構築	
(2) 交通事故抑止に向け、マンネリ化しないような関心を集める形での交通指導・広報啓発活動の実施	
(3) 各種会合等へ警察官が積極的に参加し、防犯講話や交通安全講話を実施	
(4) 高齢者の運転免許証返納の促進	
	記録者
	警務係長

